

備前市事務事業評価シート

事業の概要			
事業開始年度		昭和46年～	
総合計画	大項目	02	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	01	やさしさあふれるまちづくり
	小項目	01	子育て支援
事務事業名		02	公立保育園管理運営事業
		根拠法令・例規等	児童福祉法他
		問担当課(室)	保健福祉部 こども課
		合職・氏名	こども福祉係 大森賢二
		先電話	0869-64-1825
		このシート作成に要した時間	1.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	就学前の乳幼児
目的(何のために)	生涯にわたる人間形成の基礎が培われる乳幼児期の子ども、就労等により家庭で保育できない保護者に代わって保育し、健康で豊かで人間性を持った子どもの育成に寄与する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	入園希望者に対して待機児童数を無くすることで事業目的を達成させる。また、充足率が上昇することによって、単位当たりコストが下降し効率化が図れる。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	保育園運営事業	市内認可保育園の通常保育の実施	
	へき地保育所運営事業	頭島保育園の通常保育の実施	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		181,394	223,250	232,757	
	必要人員(人件費)	千円	61.99人	385,613	61.06人	365,134
	事業費計		567,007	588,384	580,079	
	国県支出金					
	受益者負担		114,811	112,092	81,399	
	繰入金	千円				
その他( )		6,722	6,917	9,423		
一般財源		445,474	469,375	489,257		
受益者負担比率	%	20.2%	19.1%	14.0%		
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
年間平均入所者数(公立)	説明		公立保育園11園での1日当たりの園児措置数			
結果指標量	事業		491	448	453	
対前年比	%			91.2%	101.3%	
活動コスト			567,007,434	588,384,281	580,094,813	
単位当たりコスト	円		1,154,801	1,313,358	1,280,563	

(平成22年度事業)

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
待機児童	目標値(A)	0人	0人	0人	0人
	実績値(B)	0人	0人	0人	到達目標値
	達成率(B/A)	100.00%	100.00%	100.00%	毎年
成果指標設定の考え方・式や説明					

保育園に入所を希望し、資格を有するにもかかわらず定員超等の理由で入所できない児童を生じさせないことで目的を達成する。

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A~E>  <b>C</b>
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E>  <b>C</b>
有効性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	有効性評価 <A~E>  <b>C</b>
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	有効性評価 <A~E>  <b>C</b>

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	片上保育園を幼保一体型施設とする事業を推進し、今後はその他、市内各保育園の統廃合や幼保一体型施設の整備を推進する。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
関係法令で設置を義務づけられた施設であるが、保育に欠ける子どもを持つ家庭はもとより、未就園児の家庭を含め、地域における子育て支援を提供する施設として、今後において保育園の役割が重要になっている。	評価区分 <A~E>  <b>C</b>	

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	片上地区を平成24年度以降、その他の地区でも統廃合を含めた幼保一体型施設の開園を計画している。					